

1 学習目標

どのようにしたらよいかを説明するために、使い方ややり方について伝えることができる。

2 指導上の留意点

- (1) テキスト（ユニバーサル・デザイン）に関連する語彙をリズムに乗せて練習することにより、本文の内容にスムーズにつなげたい。
- (2) 英文をスピーディーに多量に反復練習することにより、生徒の発話量を増やし、既習の基本文を定着させたい。
- (3) 教師と生徒の間でインタラクションを図りながら、教材の内容を再構築し、キーワードや新出語句を導入する。映像の視聴を通して、直接英語の聴覚像により内容の把握を図る。

評価

- ・<疑問詞+to>を用いた文の形・意味・用法を理解している。[知識]
- ・<疑問詞+to>などの理解をもとに、使い方ややり方を伝え合う技能を身につけている。[技能]
- ・だれもが暮らしやすい社会について考えるために、身近なものやことの使い方ややり方を説明したり伝え合ったりしている。[思考・判断・表現]
- ・だれもが暮らしやすい社会について考えるために、身近なものやことの使い方ややり方を説明したり伝え合ったりしようとしている。[主体的に学習に取り組む態度]

Thursday, November 4 Unit 5 Scene 1 (p. 73) Let's read an announcement about a universal design event.

I know how to swim.	easy—easily
what to buy.	happy—happily
where to go.	
when to start.	come and learn
who to ask.	come and see me
which car to buy.	
whose novel to read.	

本時の流れ

- ① あいさつとめあての確認
- ② ウォーミング・アップ
- ③ 基本文の復習
 - ・Mim-mem
 - ・Pattern practice
 - Variation (Substitution/Conversion)
 - Selection
- ④ 本文のオーラル・インタラクション
- ⑤ 新出単語の確認と練習
- ⑥ 本文の音読
 - ・Model reading/Choral reading (Choral-Individual-Choral reading)/
 - Buzz reading/Individual reading/Read and look up
- ⑦ まとめ (Writing) と振り返り
- ⑧ あいさつ